

《留学生向け特別授業（2単位）》

学 部：日本法入門

大学院：法政理論特殊講義（修士課程）

法政理論特別研究（博士後期課程）

このことについて、下記のとおり開講しますので、履修希望者は担当係（学部生：教務担当，研究生・大学院生：学事担当）で履修登録期間に登録してください。

記

【授業内容】

学部生，研究生，大学院生として来日したばかりの留学生を対象に，日本の法学・政治学の基礎的理解を得ることを目的とする授業（詳細については，別紙参照）

【担当教員】

野田耕志，岸本太樹，松尾誠紀，土井翔平，郭薇

【授業日程】（予定）

9月26日（月）	1 講目	（担当：野田 耕志）
10月 3日（月）	1 講目	
10月17日（月）	1 講目	
10月24日（月）	1 講目	（担当：岸本 太樹） ※11月7日は休講
10月27日（木）	5 講目	
10月31日（月）	1 講目	
11月14日（月）	1 講目	（担当：松尾 誠紀）
11月21日（月）	1 講目	
11月28日（月）	1 講目	
12月 5日（月）	1 講目	（担当：土井 翔平）
12月12日（月）	1 講目	
12月19日（月）	1 講目	
12月26日（月）	1 講目	（担当：郭 薇）
12月28日（水）	1 講目	
1月16日（月）	1 講目	

全15回

【実施方法】

9/26－10/17：オンライン授業（実施形態詳細はELMSで周知）

10/24以降 対面授業、教室は研403室（※10/27のみ研321室）

【評価方法】

授業参加態度及び各担当者のレポートによる。

令和4年9月5日 教務担当・学事担当

○(担当：野田 耕志)(3回)

本講義では、日本の民事法（民法、商法、民事訴訟法）に関する大まかな見晴らしを提供する。3回の講義では、民法の基本構造・基本概念について確認したうえ、商法、民事訴訟法の概要について解説する予定である。

成績評価は、講義内容に関する1000字程度のレポートによって行う。

なお、授業はWebexによる同時配信の方式で実施する。接続先情報等はELMSを通じて追って案内する。

○(担当：岸本 太樹)(3回)

本講義では、日本の公法学（憲法、行政法）に関する基礎的知識の習得を目的とする。3回の講義では、日本の公法学が基盤とする思考様式及び基本原理、国や地方自治体の統治機構の概要について説明する予定である。

成績評価は、講義への参加姿勢と講義内容に関する1000字程度のレポートによって行う。

○(担当：松尾 誠紀)(3回)

本講義では、刑事法に関する基礎的知識の修得を目的とする。

各回の講義では、次の内容を予定している。

- ①刑法の基礎。正当防衛など。
- ②刑事訴訟法の基礎。裁判員制度。
- ③刑事政策学の基礎。少年事件の手続。

成績評価は、講義内容に関する1000字程度のレポートによって行う。

○(担当：土井 翔平)(3回)

本講義では、第二次世界大戦後（特に冷戦後）の日本の政治や外交を学ぶ。日本の政治外交における重要な出来事に触れつつ、関連する政治学や国際関係論の概念や理論について習得する。成績評価は講義内容に関する1000文字程度のレポートによって行う。

○(担当：郭 薇)(3回)

本講義では、基礎法学、とりわけ法社会学を中心に、法情報の利活用を素材に近時日本の法文化・法意識を検討する。また、私の担当分(3回)を通して、日本法に関する情報の調べ方の基本を修得させることも目標とする。各回の講義では、次の内容を予定している。

- ①法情報学の入門：法令および解説、立法・行政情報、判例を探す
- ②立法の中の法情報：立法過程における情報の利活用
- ②司法の中の法情報：裁判公開、裁判手続のIT化など裁判情報の問題

現段階では、対面授業により実施する予定である。

受講者は、講義内容に関するレポートを1000字程度にまとめて提出することが求められる。